

# Art Insight Kagawa

演出の浜畑賢吉(中央)を迎えた練習=21日、アルファあなぶきホールリハーサル室



県が12月に高松市で開く本格的な市民参加オペラ「かぐや姫」のキャストがそろった。タイトルロールは注目若手、徳井えりな(25)丸亀市に決まり、ほかにも県内を中心に20〜50代まで各世代の実力者が集まった。秋に指揮者や演出家を迎えた全体練習も始まり、本番に向けて準備は最終段階に入った。

## キャストそろう 来月公演

キャストは次の通り。

- かぐや姫=徳井えりな▽帝=前田昭和(高松市)▽翁=秋山啓(岡山市)▽姫=上野晃代(丸亀市)▽車持皇子=越智慎悟(高松市)▽大納言=牛野亮介(同)▽中納言=天の王=林直樹(坂出市)▽公家=増井泰弘(同)▽石作皇子=大藪誠士(まんのう町)▽里の娘=谷若奈(東京=丸亀市出身)

る全体練習も行っている。2度の練習に立ち会った浜畑は、「演出面ではほぼ仕上がった。あとはそれぞれがもっと練習し、本番は熱気に感動が伝わるステージにしたい」と話している。「かぐや姫」は「竹取物語」を題材に、平井が作曲・台本を手掛けた話題作。これまで東京、プラハなどで演じられ、いずれも平井本人が指揮するスタイルを取っている。日本語の上で、イタリアオペラの香りが感じられる美しいメロドラマが評価を得ている。公演は12月28日午後6時から高松市玉藻町のアルファあなぶきホール小ホールで開く。入場料は一般2,000円ほか。問い合わせは010から指揮の平井秀明と演出の浜畑賢吉によう(23)5023。

## 「かぐや姫」練習最終ステージ

「日本語の美しさを大切に歌いたい」と話す徳井えりな=高松市中野町、四国新聞社



## 日本語の響きを大切にしたい

練習が始まってきた。練習が始まって2カ月、指揮者や演出家の直接指導を受けて、曲に対する解釈が深まった。和服姿での微妙な身のこなしも徐々に開かれた。よんでん文化に丸亀市に帰郷。7月に「タイトルロール」が地元で公演された。小学生の時に近くの見

いながら思っている。練習が始まって2カ月、指揮者や演出家の直接指導を受けて、曲に対する解釈が深まった。和服姿での微妙な身のこなしも徐々に開かれた。よんでん文化に丸亀市に帰郷。7月に「タイトルロール」が地元で公演された。小学生の時に近くの見

いながら思っている。練習が始まって2カ月、指揮者や演出家の直接指導を受けて、曲に対する解釈が深まった。和服姿での微妙な身のこなしも徐々に開かれた。よんでん文化に丸亀市に帰郷。7月に「タイトルロール」が地元で公演された。小学生の時に近くの見